

「国語総合（古典分野）」（国語総合B）年間指導計画

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4単位	年次	1年次
使用教科書	新高等学校国語総合(明治書院)						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） やさしくくわしい古典文法三訂版（尚文出版） 修訂版古典文法ノート（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・古典の文章（古文や漢文など）を正しく読解するための基礎的な日本語の力をつけましょう。
- ・古典の作品を詠み、その世界に触れるなかで、日本語の語彙を豊かにし、正しい文法を身に付けましょう。
- ・言語活動におけるコミュニケーション力を磨くために、正しく「話す」、「聞く」、意図を「読む」習慣を身につける学習を授業などでしましょう。

2 学習の到達目標

「国語に親しみ、豊かな心と知性をもつ創造的人間を育てる」

- 1 文章を論理的に理解し、思考する力を養う。
- 2 優れた文学作品に触れ、感受性・情緒性豊かな想像力や思いやりの心を育む。
- 3 表現力・コミュニケーション力・創造力を高め、社会性・国際性を育み、生きる力、課題解決能力を培う。
- 4 古典に親しみ、自国の文化についての理解を深める。
- 5 生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

3 学習評価（評価の規準と評価方法）

観点	関心・意欲・態度 (A)	話す能力・聞く能力 (B)	書く能力 (C)	読む能力 (D)	知識・理解 (E)
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業の取り組み姿勢 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績			テキストの音読 応答と発問 小テスト・定期考査の成績	応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価をする。

4 学習の活動

学期	単元	教材	評価の観点					単元の評価規準	評価方法の観点
			A	B	C	D	E		
一学期	門1 古文入	児のそら寝 検非違使忠明 尼、地蔵を見奉ること	○			◎	◎	A:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	2 徒然草	つれづれなるままに 名を聞くより 奥山に猫またといふもの ありて ある人、弓射ることを習ふに 花は盛りに	○			◎	◎	D:文章に描かれている情景を文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	
	語3 竹取物	かぐや姫の生ひ立ち かぐや姫の嘆き 月からの迎え	○			◎	◎	E:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	

一 学 期	門 1 漢 文 入	なぜ漢文を学ぶのか 漢文入門 故事 守株 螳螂之斧 蛇足	○			◎	◎	A: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、 文章の筋道を的確に捉えようとしている。 D: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、 文章の筋道を的確にとらえている。 E: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを 身に付けている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	史 2 略 十 八	鶏口牛後 鼓腹撃壤 臥薪嘗胆	○			◎	◎		
二 学 期	語 4 伊 勢 物	芥川 東下り 筒井筒	○			◎	◎	A: 文章に描かれている情景を、文や文章、語 句などから離れないようにして読み、人物 の言動や状況を捉える手掛かりとしようと している。 D: 文章に描かれている情景を文や文章、語句 などから離れないようにして読み、人物の 言動や状況を捉える手掛かりとしている。	授業の取り組み姿勢 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	5 和 歌	万葉集 古今和歌集 新古今和歌 「自分のために詠まれ た歌」が、必ずある	○			◎	◎	E: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを 身に付けている。	
	語 6 平 家 物	『平家物語』とは 富士川 巴 坂落 能登殿最期	○			◎	◎		
	3 唐 詩	漢詩のリズム 春曉 秋日 静夜思 江雪 山亭夏日 送元二使安西 春望 八月十五日夜、禁中独直、 对月憶元九	○			◎	◎	A: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、 文章の筋道を的確に捉えようとしている。 D: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、 文章の筋道を的確にとらえている。 E: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを 身に付けている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	4 論 語	論語	○			◎	◎		
三 学 期	記 7 土 佐 日	門出 帰京	○			◎	◎	A: 文章に描かれている情景を、文や文章、語 句などから離れないようにして読み、人物 の言動や状況を捉える手掛かりとしようと している。 D: 文章に描かれている情景を文や文章、語句 などから離れないようにして読み、人物の 言動や状況を捉える手掛かりとしている。	授業の取り組み姿勢 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	道 8 奥 の 細	旅立ち 平泉 立石寺	○				◎	E: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを 身に付けている。	